

部 局 名	教育総務部
部 局 長 名	飯田 秀勝
部の運営方針	<p>○「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、教育行政を推進します。</p> <p>○学校教育の充実（「豊かな心の育成」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」の推進を図り、『生きる力』の育成に努めます。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の視点で学力向上に努めます。</li> <li>・『小中一貫教育の推進』に努め、各中学校区で作成したグランドデザインを達成すべく支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。また、G I G A スクール構想に基づき整備された一人一台端末を活用し、I C T 教育を一層推進します。</li> <li>・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。</li> <li>・市費で配置している外国語指導助手（A L T）、I C T 教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等会計年度任用職員の効果的な活用と配置に努めます。</li> <li>・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるよう取り組みます。</li> <li>・Q-U 検査（楽しい学校生活を送るためのアンケート）及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。</li> <li>・給食における地産地消の推進をはじめ食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。</li> <li>・「学校施設個別施設計画」に基づき、子供達が安心して快適に学べる教育・学習環境の充実を図ります。また、布佐中学校区の学校の在り方について「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」を設置し、施設一体型の小中一貫教育を含め広く意見を伺い検討していきます。</li> <li>・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラルアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。</li> </ul> <p>○地域に根ざした教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。</li> <li>・各学校に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置し、地域学校協働活動の充実、学校評価の活用を図りながら学校と地域との連携・協働体制を構築し、地域とともにある学校づくりを推進します。</li> </ul> <p>○子どもの成長、自立への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。</li> <li>・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの体験活動を子ども部と連携して実施します。</li> <li>・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。</li> <li>・配慮が必要な児童生徒を支援するために、学校、保護者、子ども相談課等と一層の連携を図ります。</li> <li>・教育支援センター（適応指導教室）は一人ひとりの子どもに合った教育の在り方を考え、支援する 2 0 校目の学校として位置づけます。引続き、湖北台東小学校 1 階に設置の「かけはし」及びけやきプラザ 11 階フリースペース「手賀沼のうなきちさん家」に設置の「ひだまり」の 2 教室を運営し、支援をしていきます。</li> </ul>

部 局 名	教育総務部
部 局 長 名	山田 和夫
部の運営方針 に対する総合 評価	<p>教育総務部（総務課・学校教育課・指導課・教育相談センター）の運営方針に挙げた目標を概ね達成することができました。</p> <p>本年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の終息がつかないために事業に影響が生じました。</p> <p>しかしながら、コロナ禍の中、新しい生活様式を取り入れながら、今までの経験を踏まえ、どうしたら行事等を実施できるかを考え工夫してできる限り事業を推進し、例年どおりの学習進度を確保、予定していた教育課程を達成しました。</p> <p>繰越事業の執行を含め、国のコロナ対策関連補助金を積極的に活用し、感染対策備品・消耗品を購入しました。</p> <p>すべての学校をコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置）とし、地域とともにある学校づくりを推進しました。</p> <p>教育相談センターにおいては、より市民から相談のしやすい施設とし、児童生徒が自分らしい学校生活を送れるよう各事業を推進しました。</p>

令和4年度  
課の目標管理書

課名：教育総務部 総務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○教育振興基本計画を推進し、適正な進行管理を行います。  
○総合教育会議の開催にあたっては、市長と教育委員とのスムーズな意思疎通が図れるよう、秘書広報課と連携して対応していきます。  
○子どもたちが安全で安心して快適な学校生活を送れるよう、改善を図っていきます。  
・学校施設個別施設計画を推進し、学校施設の長寿命化改修等を計画的に実施していきます。  
・局所的に高い放射線量が測定された箇所の除染対策（ホットスポット対応）を行います。  
・その他老朽化等による学校施設の不良箇所や包括委託の現地調査による緊急性の高い修繕個所に迅速に対応し、教育環境の整備・充実を図ります。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
<p>・総合教育会議を3回実施し、令和5年度から開始する教育大綱についての意見交換などを実施しました。</p> <p>・学校施設個別施設計画に基づき学校施設の改修等を実施し、その他老朽化等による学校施設の不良箇所や包括委託の現地調査による緊急性の高い修繕個所に迅速に対応しました。</p>	<p>総合教育会議では、教育大綱の見直しについて意見交換を行い、新しい教育大綱に反映させました。</p> <p>計画どおり学校施設の改修を進めることができました。また、施設の老朽化に伴う緊急的な修繕を行い、子どもたちが快適に学校生活を送ることができました。</p>

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

学校施設の長寿命化改修等により、大規模及び中規模な工事が今後も続くことから人員の配置等の検討を行う必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学校施設の維持管理	
	担当部署名	教育総務部 総務課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的・概要	小中学校施設の点検を実施し適切に管理するとともに、老朽化が進む学校施設の改修や改築を計画的に行うことで、児童生徒の安全性の確保や教育環境の充実を図っていきます。		
関連する市の計画等	我孫子市公共施設等総合管理計画		
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	指	中学校空調設備の更新 (相談室・保健室)	
		小学校施設整備事業 (我孫子第二小学校改修工事設計)	
		小中学校施設の維持管理 (我孫子第三小学校プールろ過器更新工事)	
		小中学校施設の維持管理 (我孫子中学校プールろ過器更新工事設計)	
		小中学校施設の維持管理 (我孫子中学校第1期便所等改修工事)	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	我孫子市立小学校空調設備貸借 (我孫子第一小学校 他12校) H28~R8年度 1,500,000千円		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	327,458	19,575	2.00	0	0.00	347,033	7,700	0	34,300	0	305,033
令和3年度	決算見込額	510,104	20,025	0.00	0	0.00	530,129	163,957	0	58,100	0	308,072
令和4年度	当初予算額	472,957	14,661	1.85	0	0.00	487,618	31,266	0	140,100	0	316,252
	補正後予算額	599,255	14,661	1.85	0	0.00	613,916	54,599	0	231,000	0	328,317
	決算額	432,521	14,661	1.85	0	0.00	447,182	26,974	0	126,600	0	293,608

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	改修工事・修繕等維持管理校数	校		目標値	19	19	19	19
				実績値	19			
成果 指標	大規模改修工事等完了校数	校		目標値		1	2	6
				実績値				
成果 指標	便所等改修工事完了校数	校		目標値		1		
				実績値				
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	改修工事・修繕等を適切に実施することで、小中学校19校の施設の維持管理を順調に実施することができた。
成果に対する評価	順調	我孫子中学校の便所等改修工事を令和4年度及び5年度の2か年で実施する予定であり、令和4年度分の改修工事については順調に実施することができた。
総合的な評価	順調	我孫子市学校施設個別施設計画に基づき改修工事を実施することができ、また、修繕等についても適切に実施することができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	各学校において施設の老朽化が進行しており、引き続き我孫子市学校施設個別施設計画に基づき改修工事を実施し、また、修繕等を適切に実施することで学校施設の維持管理に取り組んでいく。

## 令和4年度 課の目標管理書

課名：教育総務部 学校教育課

### 1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・個に応じたよりきめ細かな学習指導ができるようスクールサポート教員等の配置を適正に行います。

・健康な子どもを育むために学校給食の充実を図ります。栄養教諭を中核とした「食に関する指導ハンドブック」の活用を図るとともに、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消を推進します。

・児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置するとともに、通学路の安全点検、保護者及び地域住民への見守りの協力、学校施設、設備、備品の充実を図り教育環境を整えます。

・平成31年施行「我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進プラン」の進捗状況を安全衛生委員会や各学校からの報告等から検証し、より一層の働き方改革が進むように指導支援を継続していきます。

・布佐中学校区の学校の在り方検討委員会立ち上げ、今後の布佐中学校区の児童、生徒にとって地域の特性に応じた最適な学習環境と学校の在り方について検討します。

・小中学生がいる家庭で、経済的理由により就学費用の支払いが困難な保護者に、就学費用の一部を援助します。

### 2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した通り、全取組みを実施しました。

令和4年4月に布佐中学校区の学校の在り方検討委員会立ち上げ、当初予定していた事業とともに滞りなく実施しました。

令和5年1月に第1子、第2子への学校給食費補助事業（1000円補助）を立ち上げ、さらに、第3子の給食費無償化の拡充も合わせて開始し、当初予定していた事業とともに滞りなく実施しました。

### 3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
各事務事業において目標値に近い実数値となっており、課の目標は概ね達成できました。	課の目標に示した取組は、概ね達成できました。児童の泳力向上及び学校プール施設の維持管理費削減を目的に、3つの小学校の水泳指導を民間のスイミングスクールへ委託しました。今後の布佐中学校区の児童・生徒にとって最適な学習環境と地域の特性に応じた学校の在り方について、幅広い見地から検討しました。

### 4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

水泳指導の民間活用については、児童の泳力向上や費用対効果などが認められたため、積極的に推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業		
	担当部署名	教育総務部 学校教育課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的・概要	教育機会の均等を図るため、小中学校への就学費用の支払いが困難な家庭を援助します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	71,604	6,090	0.70	0	0.00	77,694	21	139	0	0	77,534
令和3年度	決算見込額	114,863	6,230	0.70	0	0.00	121,093	573	96	0	0	120,424
令和4年度	当初予算額	136,344	7,360	0.80	0	0.00	143,704	5,482	159	0	0	138,063
	補正後予算額	130,393	7,360	0.80	0	0.00	137,753	5,482	159	0	0	132,112
	決算額	121,656	7,360	0.80	0	0.00	129,016	4,145	152	0	0	124,719

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標	活動 指標	就学援助認定者数	人	目標値	1200	1200	1200	1200	
				実績値	1186	1183			
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	目標値に近い実績値で活動することができ、必要な援助を実施することができた。
成果に対する評価	順調	援助を要する家庭に対し、必要な援助を実施することができた。
総合的な評価	順調	経済的理由により就学費用の支払いに困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の一部を支援することで子どもの心と体の発達に応じた教育を推進することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	本事業は、経済的理由により就学費用の支払いに困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の一部を支援することで施策目的に寄与している。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学校教育環境の充実	
	担当部署名	教育総務部 学校教育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身ともに健康な子どもたちを育み、確かな学力の育成を支援する授業の推進や、個に応じたきめ細かな指導のための環境づくりに取り組みます。</li> <li>子どもたちが安全に安心して登下校できるよう、警察や道路管理者などと連携を図りながら、通学路の安全確保に関する点検や対策に取り組みます。</li> <li>子どもたちの教育環境の充実に最優先に、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、小中学校の適正規模に関する検討を進めます。</li> </ul>		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	スクールサポート教員の配置事業	指	水泳指導の民間活用
	学級編制及び学籍管理 (法令に基づく適切な事務) 事業		
	小学校の安全管理員の配置		
	小中学校管理運営事業		
	小中学校配置職員管理事業		
	小学校備品管理事業		
	中学校備品管理事業		
	日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業		
指 布佐中学校区の在り方検討			
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	高学年担任職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	403,708	39,585	4.55	58,963	69.00	502,256	51,056	0	0	3,721	447,479
令和3年度	決算見込額	379,963	40,495	4.55	54,201	69.00	474,659	23,090	0	0	3,550	448,019
令和4年度	当初予算額	401,406	51,780	6.00	77,985	58.20	531,171	10,662	0	0	3,461	517,048
	補正後予算額	535,816	51,780	6.00	77,985	58.20	665,581	21,219	0	0	3,491	640,871
	決算額	425,414	51,780	6.00	77,985	58.20	555,179	17,074	0	0	3,491	534,614

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
成果 指標	学校評価アンケートで、「楽しく学校生活を送っている」と回答した児童生徒の割合	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	90	90.7		
成果 指標	小中学校19校の備品管理執行状況	%	目標値	90	90	90	90	90
				実績値	88	98.4		
成果 指標	通学路安全推進会議で出た危険箇所の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	89.2		
活動 指標	スクールサポート教員の配置数	校	目標値	19	19	19	19	19
				実績値	12	14		
指標	水泳指導の民間委託実施校		目標値					
				実績値				
指標			目標値					
				実績値				
指標			目標値					
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	まだ目標値を達成していないものの、昨年度より実績値が上昇し、個に応じたきめ細やかな指導により、子どもたちの基礎的・基本的な知識や思考力、判断力、表現力の習得に寄与した。
成果に対する評価	順調	目標値に近い実績値の成果があり、子どもたちの教育環境や、安全・安心の学校環境の整備に寄与することができた。
総合的な評価	順調	個に応じたきめ細やかな指導の実施や、安全な学校環境の整備により、安定した学習環境の提供につながった。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	個に応じたきめ細やかな指導の実施や、安全な学校環境の整備により、安定した学習環境を提供するために、今後も引き続き実施が必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	児童・生徒の保健衛生事業
	担当部署名	教育総務部 学校教育課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。
事務事業の目的・概要	子どもたちの健康保持・増進につながる実践力を育成するため、小中学校における食育及び歯科保健活動の充実を図ります。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	児童・生徒・教職員健康診断事業	
	我孫子市学校保健会運営	
	学校の環境衛生事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	48,750	16,530	1.90	2,487	1.00	67,767	0	0	0	0	67,767
令和3年度	決算見込額	49,230	16,910	1.90	1,277	1.00	67,417	0	0	0	0	67,417
令和4年度	当初予算額	30,659	11,220	1.20	750	0.60	42,629	0	0	0	0	42,629
	補正後予算額	27,833	11,220	1.20	750	0.60	39,803	0	0	0	0	39,803
	決算額	26,389	11,220	1.20	750	0.60	38,359	0	0	0	0	38,359

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	健康診断における尿検査の受診人数 (児童生徒 実施人数/在籍者数)	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99	98.7			
活動 指標	学校環境衛生基準に基づいた教室内空気検査の実施校	校	目標値	19	19	19	19	19
			実績値	19	19			
活動 指標	小学校歯磨き食育指導を行った小学校	校	目標値	13	13	13	13	13
			実績値	13	13			
成果 指標	学校環境衛生基準に基づいた教室内空気検査基準値内校/全19校	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	94.7			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	どの活動内容も、目標値を達成またはそれに近い実績値で活動することができ、子どもたちの健康保持・増進に寄与した。
成果に対する評価	ほぼ順調	目標値に近い実績値の成果があり、学校の環境衛生を適切に保つことができた。
総合的な評価	順調	児童・生徒・教職員の健康保持・増進や学校の環境衛生を適切に保つことで、安定した学習環境の提供につながった。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	児童・生徒・教職員健康診断事業や学校の環境衛生事業は、法で実施を定められている。また、歯磨き食育指導は子どもたちの健康保持・増進につながる実践力を育成するために、今後も引き続き実施が必要である。



1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学校給食管理運営事業
	担当部署名	教育総務部 学校教育課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。
事務事業の目的・概要	子どもたちの健やかな成長のために給食が生きた教材となるよう、食育に取り組むとともに、地元の農産物を使った給食を提供し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育みます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業	
	学校給食管理運営事業	
	給食施設維持管理	
	学校給食備品管理事業	
	小中学校給食調理業務の民間委託事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業	小中学校給食調理業務委託（7校分）R3～R4年度 136,261千円、学校給食用我孫子産米調達業務委託 R3～R4年度 6,439千円	

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	445,762	114,840	13.20	10,657	8.20	571,259	15	0	0	474	570,770
令和3年度	決算見込額	487,573	115,070	13.20	2,919	0.80	605,562	0	0	0	395	605,167
令和4年度	当初予算額	471,068	78,240	9.60	1,193	0.60	550,501	0	0	0	329	550,172
	補正後予算額	544,763	78,240	9.60	1,193	0.60	624,196	0	4,171	0	329	619,696
	決算額	538,621	78,240	9.60	1,193	0.60	618,054	0	2,879	0	300	614,875

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	週あたりの我孫子産米の使用回数	回		3.9	4.1	3.9	3.9	3.9
				19	19	19	19	19
活動 指標	食に関する指導を行っている学校	校		19	19	19	19	19
				100	88.1	100	100	100
成果 指標	我孫子産野菜の認知度	%		100	89.6	100	100	100
				100	87.2	100	100	100
成果 指標	我孫子産米の認知度	%		100	87.7	100	100	100
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	どの活動内容も、目標値を達成またはそれを超える実績値で活動することができ、子どもたちの食育に寄与した。
成果に対する評価	ほぼ順調	目標値に近い実績値の成果があり、地域に根差した食に対する理解を深めることができた。
総合的な評価	順調	地産地消への理解や食に関する教育の充実を図ることで、健康管理の大切さを意識した健やかな学校生活を送ることにつながった。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子どもたちの健やかな成長のために給食が生きた教材となるよう、食育に取り組むとともに、地元の農産物を使った給食を提供し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育むため、今後も引き続き実施が必要である。

# 令和4年度 課の目標管理書

課名：教育総務部 指導課

## 1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○子どもたちに学習指導要領の示す「生きる力」を育むために、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの力を育成する教育を、小中一貫教育の視点を持ちながら推進していきます。

- ・人生を拓く「確かな学力」を育てるために、教職員の資質能力向上に向けた各種研修を充実させます。
- ・言語活動の充実、体験的活動の充実、道徳教育の充実を図り、「豊かな心」の育成、望ましい人間関係の育成を図ります。
- ・全国学力・学習状況調査及び市独自の学力調査の結果を有効に活用し、実践の検証を行うとともに、指導の評価・改善を継続的に行い、個に応じた指導の充実を図ります。
- ・「健やかな体」の育成を目指し、教育活動全体を通じた体力の向上推進を図るとともに、食に関する教育に努め、健康教育を推進します。
- ・GIGAスクール構想に基づき、ICT教育の推進に努めます。また、情報活用能力を育成し、情報化社会に参画する態度を養います。
- ・子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育を推進するとともに、各学校をコミュニティ・スクール（学校運営協議会の設置）とし、地域学校協働活動の充実を図りながら学校と保護者、地域が連携・協働する仕組みづくりを支援します。
- ・小学校における外国語教科化および国際理解教育推進のため、ALT（外国語指導助手）の配置とその効果的な活用に努めます。
- ・外国語・外国語活動において小中学校の円滑な接続ができるように、小学校教員、中学校教員とALT（外国語指導助手）との連携を密にします。
- ・幼保小連携では、子どもたちの育ちと学びをつなげるために「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。
- ・小中一貫教育の推進に努め、各中学校区のランドデザインを基に、学校と保護者そして地域がお互いに協働しながら、それぞれの中学校区の特色を生かした教育を展開していけるように支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づいたカリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。
- ・ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子どもを育成するため、地域の資源を生かした学習を進めていきます。
- ・いじめ防止対策推進条例及び基本方針を踏まえ、市としての防止施策の実施及び各学校の防止具体策を支援します。また、いじめ防止対策委員会を年3回開催し、専門的かつ客観的な視点から、市及び学校における課題及びその防止策について検討し、改善に努めます。さらに、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できるよう支援していきます。
- ・Q-U検査（WEBQU）の結果を有効に活用し、学級経営を支援します。
- ・学校図書館の計画的活用を通して、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めます。また、児童生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実させるため、学校図書館利用に伴う学校司書の効果的的配置及び活用に向けた研修会や取組を進めます。

## 2. 課の目標への取組結果

概ね順調に取り組むことができました。

## 3. 取組結果の対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
我孫子市の実態を踏まえ、小中一貫教育を柱として、全小中学校の学びを支援しました。GIGAスクール構想に基づき、ICT教育を推進しました。コミュニティ・スクール開始年度として、周知と運営支援に尽力しました。	課の目標に示した取組は、概ね達成できました。すべての学校をコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置）とし、地域とともにある学校づくりを推進しました。

## 4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

第2次教育ICT調達に向けて、学校と教育委員会関係課と様々な調整が必要です。小中一貫教育とコミュニティ・スクールの一体的推進を図る必要があります。学力向上に向けた教員の授業力向上が必須です。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学生非行対策
	担当部署名	教育総務部 指導課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-3 防犯対策の推進
	施策の展開内容	防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。 また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と連携して小中学生をめぐる現状を把握し、事故や犯罪に巻き込まれないよう啓発及び情報提供をしていきます。</li> <li>警察と連携し、少年指導員とともに、帰宅指導や交通マナー遵守などの指導を行っていきます。</li> </ul>	
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画	
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	少年センター業務	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	3,634	3,219	0.37	0	0.00	6,853	0	250	0	0	6,603
令和3年度	決算見込額	4,770	3,293	0.37	0	0.00	8,063	0	250	0	0	7,813
令和4年度	当初予算額	2,218	4,181	0.45	734	0.20	7,133	0	250	0	0	6,883
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	1,627	4,181	0.45	706	0.20	6,514	0	250	0	0	6,264

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	定例街頭指導の回数	回	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	12	15		
成果 指標	街頭指導における問題行動の認知件数	件	目標値	180	170	160	160	160
				実績値	202	130		
指標			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	コロナウイルスの影響も減り、どの中区も例年通り定例街頭指導を行えるようになっている。令和5年度にしっかりとつなげていきたい。
成果に対する評価	順調	定例街頭指導の実施回数を増やしたが、問題行動の認知件数が減っている。これまでの活動が実を結んだ結果だと考えられる。
総合的な評価	順調	街頭指導などを継続し、市内の小中学生の見守り活動を行っていく。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	街頭補導における問題行動の認知件数が、昨年度よりも街頭補導回数が増加したにもかかわらず減少していることは、定期的な街頭補導による問題行動の未然防止につながっていることや、少年の問題行動が喫煙や飲酒、深夜徘徊等から、スマートフォンの普及によるネット内での発生に移り変わっていることが考えられる。事業は現状通り推進するが、街頭補導の方法等については、今後検討する必要がある。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域とともにある学校づくり推進事業		
	担当部署名	教育総務部 指導課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的・概要	「地域とともにある学校」として、地域と「目指す子ども像」を共有し、保護者、地域、大学、高校と連携して、自然、歴史、文化、人材などの地域資源を活用しながら、地域全体で子どもの育成を図ります。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	学校支援事業の充実			
	我孫子市学校運営協議会			
	指 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	12,683	1,305	0.15	0	0.00	13,988	0	5,868	0	0	8,120
令和3年度	決算見込額	12,176	1,602	0.18	0	0.00	13,778	0	7,094	0	0	6,684
令和4年度	当初予算額	5,328	4,292	0.51	11,356	5.20	20,975	0	8,981	0	0	11,994
	補正後予算額	5,146	4,292	0.51	11,356	5.20	20,793	0	7,089	0	0	13,704
	決算額	4,524	4,292	0.51	9,950	5.10	18,766	0	7,089	0	0	11,677

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	教育委員会主催の担当者研修会の実施回数	回		3	5	5	5	5
				3	5			
成果 指標	教育委員会主催の担当者研修会の満足度（参加者アンケート）	%		80	85	90	90	90
				80	90			
成果 指標	地域人材（学校支援ボランティア）の延べ活動回数	回		26,000	30,000	30,000	30,000	30,000
				26,362	32,497			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	年度当初の計画通り、全ての研修会を実施することができた。次年度も、研修の目的を明らかにした上で、計画的に実施していきたい。
成果に対する評価	順調	研修会の満足度が令和3年度よりも上昇し、効果的な研修が実施できている。学校でのボランティア活動においても、目標値を超え充実してきている。
総合的な評価	順調	研修を通して、地域とともにある学校づくりへの理解が促進され、ボランティア活動においても、取組が定着し、また活性化した部分も見られた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	学校運営協議会については、設置初年度として、まずは研修会等をおとして理解を促進することができた。また、地域学校協働活動については、感染症防止対策をとりつつ、ボランティア活動の充実や、新たな学校と家庭・地域との連携を少しずつ進めることができた。今後は小中一貫教育の観点も踏まえた一体的推進を目指していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	幼児期教育と小学校教育との連携・小中一貫教育の推進		
	担当部署名	教育総務部 指導課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的・概要	育ちと学びの接続を重視し、豊かな人間性や社会性を育むため、幼稚園、保育園、認定こども園と小学校の連携、小中一貫教育を推進します。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	幼保小連携			
	小中一貫教育の推進			
	ふるさとカリキュラムの実施			
	キャリア教育の推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	※計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	8,125	12,441	1.43	0	0.00	20,566	0	0	0	0	20,566
令和3年度	決算見込額	12,826	12,549	1.41	0	0.00	25,375	0	0	0	0	25,375
令和4年度	当初予算額	2,365	11,050	1.27	0	0.00	13,415	0	0	0	0	13,415
	補正後予算額	2,819	11,050	1.27	0	0.00	13,869	0	0	0	0	13,869
	決算額	2,683	11,050	1.27	0	0.00	13,733	0	0	0	0	13,733

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	幼保小連携地区別会議の実施	回		目標値	10	10	10	10
				実績値	10	10		
活動 指標	小中一貫教育だより「TUNAGU (つなぐ)」の発行数	回		目標値	10	15	15	15
				実績値	10	50		
成果 指標	幼保小連携・接続の実践、交流回数	回		目標値	45	45	45	45
				実績値	28	53		
成果 指標	小中一貫教育の周知・理解度 (学校評価アンケートより)	%		目標値		80	80	85
				実績値		75.3		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	コロナウイルスの感染防止対策を取りながら、新しい生活様式に合わせた交流活動や研修・会議を行うことができた。
成果に対する評価	ほぼ順調	交流活動や会議・研修は工夫しながらも実施できた。小中一貫教育の周知・理解度については、実施初年度で実態を把握することができた。引き続き周知・理解・促進していく。
総合的な評価	順調	それぞれの目的に応じた交流活動や研修・会議を実施することができた。感染予防対策としてICTを効果的に活用した交流活動や、研修・会議も多く見られた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	幼保小連携・小中一貫教育ともに、感染防止対策を踏まえつつ交流活動や研修・会議等を実施することができ、それぞれ目的に応じた活動に取り組むことができた。今後も、各園学校での実施内容の引継ぎを十分に行うことを促すとともに、児童生徒の実態に応じた評価・改善を図っていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教職員資質向上推進事業	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的・概要	教職員の資質の向上を図るため、教育課題に応じた研修会や授業研究会を実施し、指導の工夫や改善につながる教育情報の提供を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	教職員資質向上推進事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	人件費 (人)	会計年度任用職員 (人)	人件費 (人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	1,736	11,484	1.32	0	0.00	13,220	0	0	0	0	13,220
令和3年度	決算見込額	3,182	10,947	1.23	0	0.00	14,129	250	0	0	0	13,879
令和4年度	当初予算額	3,172	11,151	1.26	0	0.00	14,323	0	0	0	0	14,323
	補正後予算額	3,155	11,151	1.26	0	0.00	14,306	0	200	0	0	14,106
	決算額	2,537	11,151	1.26	0	0.00	13,688	0	200	0	0	13,488

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

指標	種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	教育委員会主催の課題別研修会の実施回数	回	回	目標値	9	9	9	10	10
					実績値	9	9		
活動指標	校内研修会への指導主事派遣回数	回	回	目標値	150	150	160	160	170
					実績値	187	90		
成果指標	教育委員会主催の課題別研修会の満足度（参加者へのアンケート）	%	%	目標値	95	95	95	95	95
					実績値	98.2	98.7		
				目標値					
					実績値				
				目標値					
					実績値				
				目標値					
					実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	コロナウイルスの感染防止対策を取りながら、新しい生活様式に合わせた研修を行うことができた。要請のあった学校の校内研修会には、指導主事を全て派遣した。
成果に対する評価	順調	参集型の良さを活かした研修会を開催できた。研修会の満足度も上昇し、効果的な研修が実施できている。校内研修では、教員の指導力向上につながる指導助言を心掛けて行うことができた。
総合的な評価	順調	教職員の指導力向上につながる活動を推進できている。次年度は児童生徒の学力向上により一層効果のある指導ができるよう、働きかけていきたい。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	校内研修会（授業研究会や若年層研修会等）に、指導主事を90回派遣して学校のニーズに応じた指導助言を行った。さらに、小中一貫教育の観点も踏まえて、外国語活動・外国語の授業、ICTを活用した授業に指導主事等を派遣して指導助言を90回以上行い、積極的に指導技術の向上に努めた。市主催の課題別研修会では受講者の学びたい内容を考慮して実施し、実りある研修会となった。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	いじめ防止対策事業		
	担当部署名	教育総務部 指導課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的・概要	教職員や少年指導員の研修会などを通して、近年増加しているいじめや生徒指導上の問題についての見識を深め、適切な対応ができるよう支援するとともに、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に向けた取組、子どもが気軽に相談できる仕組みづくりを進めます。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	指 いじめ防止対策			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	2,799	3,480	0.40	0	0.00	6,279	0	0	0	0	6,279
令和3年度	決算見込額	3,125	2,225	0.25	0	0.00	5,350	0	0	0	0	5,350
令和4年度	当初予算額	0	3,468	0.35	2,890	0.71	6,358	0	0	0	0	6,358
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	0	3,468	0.35	2,696	0.71	6,164	0	0	0	0	6,164

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	いじめ防止対策委員会の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3		
活動 指標	いじめに関するアンケートの実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2		
成果 指標	第2回いじめに関するアンケート結果に対する取組後のいじめ件数の解消率	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	98.8	99.4		
指標			目標値					
				実績値				
				目標値				
				実績値				
指標			目標値					
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	3回開催したいじめ防止対策委員会では、有識者や保護者等からいじめ防止に関する意見聴取をし、いじめアンケートの実施やいじめの追跡調査に役立てた。
成果に対する評価	順調	認知したいじめ事案のうち99%以上を解消し、各小中学校でいじめ発生時の情報共有や組織対応ができた。3か月以内で解消に至らなかった事案についても継続して指導等、児童生徒に対応した。
総合的な評価	順調	いじめを未然に防止したり、積極的に認知したりすることで、重大事態につながらないような指導ができています。次年度は、いじめ発生場面を想定したより具体的な対応方法等についての研修を充実させていく。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	年2回実施しているいじめアンケートでは、いじめの早期発見・早期対応できる機会となっており、アンケート後の追跡調査を通してほはいじめが解消されている。アンケートから3か月を目安に解消しているかを確認しているが、児童生徒間の問題のため未解消の事案もある。その場合は特に学校職員で情報を共有し、複数で児童生徒の対応を行っている。また、いじめ防止対策委員会では、アンケート結果やいじめの未然防止のために、多様な立場から意見をいただいている。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学力向上推進事業	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的・概要	子どもたちが未知の状況に対応する力や他者と協働して課題を解決する力を育てるよう、子ども達の自主性・自発性を重視した教育を推進します。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	学級経営の支援		
	学力向上推進事業		
	学校図書館活用の推進		
	小中学校体育・文化活動事業		
	国際理解教育の推進		
	子ども議会		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	W E B Q U (学級経営サポートシステム使用) R5~R8年度 13,740千円		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	97,348	23,751	2.73	0	0.00	121,099	25,306	0	0	0	95,793
令和3年度	決算見込額	149,619	27,323	3.07	0	0.00	176,942	0	0	0	0	176,942
令和4年度	当初予算額	45,895	19,243	2.30	75,979	16.81	141,117	0	0	0	0	141,117
	補正後予算額	40,596	19,243	2.30	75,979	16.81	135,818	0	0	0	0	135,818
	決算額	36,929	19,243	2.30	73,609	16.81	129,781	0	0	0	0	129,781

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	標準学力調査の結果分析研修会を実施した小中学校の割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			
成果 指標	小学校標準学力調査正答率の全国比	%	目標値	100	100	101	101	102
			実績値	100	97			
成果 指標	中学校標準学力調査正答率の全国比	%	目標値	100	100	101	101	102
			実績値	103	102			
指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	全ての小中学校で標準学力調査を実施し、その結果を分析した。分析したものは校内で共有し、指導に活かしている。
成果に対する評価	ほぼ順調	全国平均点と比較すると、小学校中学校共に平均点が低下している。苦手な部分を分析し、克服する材料として活用した。
総合的な評価	ほぼ順調	学力向上のため、児童生徒の得意・苦手を分析することが大切であることは教職員に浸透している。今後は分析したものを効果的に授業へつなげられるよう努めていく必要がある。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	標準学力調査の結果は全ての小中学校で分析し、校内の研修で共有することができた。各学校の苦手とする内容については、校内研修のテーマにして取り上げたり、指導案に改善の手立てを記載させたりしている。一方で、学力が低下している学校が見られるので、学力向上を目指したより一層の授業改善を行うよう指導助言していく。



1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学校ICT教育の推進		
	担当部署名	教育総務部 指導課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的・概要	「学習の基盤となる資質・能力」である『情報活用能力』を育成するため、情報教育のカリキュラム作成、教職員の指導力向上、ICTの環境整備と活用に取り組みます。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	小中学校コンピュータ教育の推進			
	指 第2次教育ICTの推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	教育ICT業務委託 R1~R7年度 715,350千円、教育ICT調達支援業務委託 R4~R5年度 21,131千円			

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(入工)	会計年度任用職員	(入工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	603,609	2,523	0.29	0	0	606,132	224,909	0	0	0	381,223
令和3年度	決算見込額	524,028	3,026	0.34	0	0	527,054	65,586	0	0	0	461,468
令和4年度	当初予算額	158,614	3,320	0.40	3,217	0.80	165,151	17,610	0	0	0	147,541
	補正後予算額	157,636	3,320	0.40	3,217	0.80	164,173	16,632	0	0	0	147,541
	決算額	157,494	3,320	0.40	3,099	0.80	163,913	16,632	0	0	0	147,281

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	教育委員会主催の情報教育に関わる研修会	回	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	6	6		
成果 指標	学習でのパソコン活用の満足度（児童生徒へのアンケート）	%	目標値	90	90	90	90	90
				実績値	94.5	95.2		
指標			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	教職員のICT活用に関する研修への興味関心が高まってきた。研修内容も基礎的な内容だけでなく、少しずつ応用的な内容の研修になってきた。
成果に対する評価	順調	情報教育に関する研修を予定通り実施することができた。児童生徒のパソコン活用の満足度も昨年度を上回り、児童生徒の活用も高まってきていることがわかった。
総合的な評価	順調	教職員も児童生徒もICTの活用を模索しながら、積極的に活用する姿が見られた。今後はより活用の質を高め、児童生徒の学力向上につなげていきたい。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	1人1台端末が整備され、各学校で模索しながらもICTを積極的に活用することができた。市主催の各研修会では、ICTの活用促進のための研修や活用状況を連絡・指導し、より一層の活用を促した。ICTの活用について、学校差や教職員差が出ないように今後も研修等を通して指導していく。

## 令和4年度 課の目標管理書

課名：教育総務部 教育相談センター

### 1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 教育・発達相談事業を推進します。子どもの健やかな育ちを支えるために、子どもと保護者の相談に適切に対応し、学校をはじめ関係機関と連携していきます。
2. 特別支援教育を推進します。教育相談センターアドバイザー事業、巡回事業、教職員研修の実施等を通して児童生徒一人一人の教育的ニーズに対する教育を進めます。また、特別支援教育コーディネーターの支援を行い、校内委員会の充実、個別の教育支援計画・指導計画の作成と活用の充実を図ります。
3. 切れ目のない支援体制の構築を療育・教育システム連絡会で図ります。また、教育支援委員会の適切な運営と就学支援の充実を図ります。
4. 長期欠席児童生徒対策事業の強化をします。学校と協力し不登校の予防・解消が図れるように支援します。教育支援センターを中心に支援体制を強化します。児童生徒からの相談を教育相談員が受けられるように体制を整備します。

### 2. 課の目標への取組結果

令和4年度から、市民から相談しやすい施設となるよう、また、法改正（教育機会確保法）の理念に基づき、施設の名称を変更し、子どもの健やかな育ちを支えるために事業を推進しました。また、特別支援教育の推進、長期欠席児童生徒対策については、学校や教職員への支援も行い、児童生徒が自分らしい学校生活を送れるように事業を推進しました。

療育・教育システム連絡会や教育支援委員会において、関係機関とのネットワークを活用した支援を行えるよう、切れ目のない支援体制を構築しました。

### 3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
専門職を確保できない中で、全ての事業において、職員一人一人が課の目標を理解し、スキルアップを図りながら事業を遂行したため、課の目標を概ね達成できました。	課の目標に示した取り組みは、概ね達成できました。引き続き児童生徒が自分らしい学校生活を送ることができるよう支援を行うとともに、「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、課の目標で示した事項について取り組みを進めていきます。

### 4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

魅力ある学校づくりについては、今後見直しが必要と考えています。また、長期欠席児童生徒対策については、引き続き、学校と連携しながら事業を推進していく必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	自分らしい学校生活を送るための教育支援	
	担当部署名	教育総務部 教育相談センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-2 子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を要する児童生徒の就学相談や一人ひとりの状況に応じた特別支援教育の取組を推進します。</li> <li>・児童生徒が自分らしい学校生活を送ることができるよう、引き続き、各学校に学級支援員などを配置し、児童生徒、保護者、教職員からの相談を通して支援を行います。</li> </ul>		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	学級支援員派遣事業		
	教育相談センターアドバイザー事業		
	教育相談・発達相談事業		
	就学相談事業		
	指 児童・生徒からの悩み相談ホットライン		
	特別支援教育推進事業		
	教育相談センター巡回事業		
	教育支援委員会の運営		
	継続費設定事業		
	債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳					
			正職員 (人)	会計年度任用職員 (人)	合計	臨時職員 (人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
令和2年度	決算額	6,681	34,305	4.37	95,681	45.01	136,667	10,894	0	0	0	0	125,773
令和3年度	決算見込額	2,216	36,267	4.62	95,787	44.18	134,270	7,139	0	0	0	0	127,131
令和4年度	当初予算額	2,142	26,625	3.30	121,696	51.76	150,463	400	0	0	0	0	150,063
	補正後予算額	2,112	26,625	3.30	121,696	51.76	150,433	28,679	0	0	0	0	121,754
	決算額	1,558	26,625	3.30	90,297	50.75	118,480	28,679	0	0	0	0	89,801

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値			
活動 指標	アドバイザー派遣率	%	目標値		100			
			実績値		100			
活動 指標	教育・発達相談、就学相談対応件数	件数	目標値		4000			
			実績値		3475			
成果 指標	アドバイザーの支援が役に立った率・満足度（全校にアンケートを実施）	%	目標値	100	100			
			実績値		90			
成果 指標	教育・発達相談継続ケースの利用者の満足度	%	目標値	100	100			
			実績値		85.3			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	教育相談センターアドバイザー事業について、令和4年度から児童生徒の実態をより詳しく把握できるよう手続きを変更したため、派遣回数は減少したがより適した支援を行えるようになった。相談事業は教育相談員の人数が確保されない中でも、相談機会を確保していた。
成果に対する評価	順調	教育相談センターアドバイザー事業について、要請があったケースは全て対応でき、大半のケースは困難感が軽減した。相談事業の利用者の満足度も高かった。
総合的な評価	順調	教育相談センターアドバイザー事業について、問題行動や困難感といった表面的な理解だけでなく、その背景まで丁寧に理解し、支援することができた。相談事業も人数減の中でも丁寧に対応できた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	教育相談センターアドバイザー事業について、今後も学校の要請があった場合は適時一つひとつのケースを丁寧に支援する必要がある。相談事業では、教育相談員の人数確保に努めつつ、相談者の困り感に丁寧に寄り添い支援をしていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教職員資質向上推進事業		
	担当部署名	教育総務部 教育相談センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的・概要	教職員の資質の向上を図るため、教育課題に応じた研修会や授業研究会を実施し、指導の工夫や改善につながる教育情報の提供を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	教職員研究論文の作成支援			
	小中学校教師用教科書及び指導書の配付			
	副読本(社会科副読本「わたしたちの我孫子」)の改訂			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	51,197	6,908	0.88	0	0.00	58,105	0	0	0	0	58,105
令和3年度	決算見込額	23,856	5,731	0.73	0	0.00	29,587	0	0	0	0	29,587
令和4年度	当初予算額	3,836	7,655	0.70	1,425	0.60	12,916	0	0	0	0	12,916
	補正後予算額	3,897	7,655	0.70	1,425	0.60	12,977	0	0	0	0	12,977
	決算額	3,890	8,800	0.80	1,425	0.60	14,115	0	0	0	0	14,115

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	論文作成にあたり指導した回数	回		目標値	6			
				実績値	0			
成果 指標	論文作成指導を受けた満足度	%		目標値	100			
				実績値	-			
指標				目標値				
				実績値				
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考(評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調とはいえない	教育相談センターアドバイザー事業について、令和4年度から児童生徒の実態をより詳しく把握でき
成果に対する評価	順調とはいえない	論文募集を行わず、論文作成にあたる指導時間がなくなったことから、指導案検討に協力をするこ や研修の講師を引き受けることが可能となり、教職員の資質の向上に貢献できたと考える。
総合的な評価	順調とはいえない	教職員の資質向上のために、論文作成を求めるのではなく、もっと効果的な方法、事業を考える必要 がある。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	教職員の資質向上を図るためには、論文作成より、副読本の「わたしたちの我孫子」、学習図鑑の「ふるさと手賀沼」 をどのように活用し、指導の工夫や模擬授業を行うなどして教員への研修を実施する方がより効果的と考える。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	長期欠席児童生徒対策事業
	担当部署名	教育総務部 教育相談センター
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。
事務事業の目的・概要	保護者や児童生徒の相談に適切に応じ、悩みを解消することで児童生徒が楽しい学校生活を送れるようにするとともに、不登校の児童生徒もさまざまな学びや経験ができる環境づくりを図ります。	
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画	
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	長欠対策事業	
	教育支援センターの運営	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan & Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳					
			正職員 (人)	（人）	合計年度任用職員 (人)	（人）		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
令和2年度	決算額	528	5,103	0.65	15,472	5.77	21,103	0	0	0	0	0	21,103
令和3年度	決算見込額	415	5,103	0.65	19,976	7.30	25,494	0	0	0	0	0	25,494
令和4年度	当初予算額	591	9,715	1.10	28,047	9.74	38,353	0	0	0	0	0	38,353
	補正後予算額	611	9,715	1.10	28,047	9.74	38,373	0	0	0	0	0	38,373
	決算額	543	9,715	1.10	28,047	9.74	38,305	0	0	0	0	0	38,305

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	心の教室相談員兼在宅訪問指導員相談件数	件数		目標値	7000	7000	7000	7000
				実績値		5504		
活動 指標	学校連携、児童生徒保護者への対応件数	件数		目標値	300	900	900	900
				実績値		841		
成果 指標	不登校率	%		目標値	5	5	5	5
				実績値		3.89		
成果 指標	教育支援センターに通級している児童生徒の出席率	%		目標値	60	60	60	60
				実績値		20.9		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	教育相談センターアドバイザー事業について、令和4年度から児童生徒の実態をより詳しく把握できるよう手続きを変更したため、派遣回数は減少したがより適した支援を行えるようになった。相談事不登校率に関して言えば、目標値よりも良い数値が出たが、小学校1.7%に対して中学校8.2%と高い。
成果に対する評価	ほぼ順調	教育相談センターを基点として、心の教室相談員や教育支援センターと連携を図り、少しずつ不登校の解消に繋がりがつつある。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	不登校対策に関して言えば、令和5年度は、小学校3校、中学校全6校に「校内教育支援センター指導員」を配置する。教室と校内教育支援センターを併用する児童生徒や、教育支援センター「かけはし」・「ひだまり」を利用して、校内教育支援センターを通して学校復帰する児童生徒も現れた。今後もこのように、教育相談センター事業と学校との連携を図っていきたい。